

国際交流報告・二〇一七年

(一) パリ・デイドロ大学での『平家物語』国際シンポジウムへの参加について

立教大学とパリ・デイドロ大学は、大学間協定を結んだ協定校の関係にある。日本文学専修でも、これまで教員の派遣・招聘やシンポジウムの開催などを通して学術交流を続けてきた。記憶に新しいところでは、昨年十一月に開催した立教大学文学部日本文学科／文学科日本文学専修設立六十周年記念国際シンポジウムⅡ「環流／貫流する日本文学——十七世紀の文学圏——」に、同大学のダニエル・ストリユーヴ氏とマティアス・ハイエク氏にもご参加いただいた。

私は、本年十月十九日・二十日に同大学で開催された国際シンポジウム《Le Dit des Heike et les autres récits guerriers - une épopée japonaise ?》(英語題“The Tale of the Heike and other warrior tales: a Japanese epic?” 日本語題「『平家物語』——軍記物語の語りと叙事詩の語り」)にお招きいただいた。以下、その概要を報告する。

当初予定されていた兩日のプログラムは以下の通りである(各報告の末尾に使用言語を示した)。当日、都合により、ストリユーヴ氏とミシエル・ザンク氏の報告順が入れ替わる形となった。

第一日 九時三十分～十七時(休憩を含む)

〔セッション1〕戦士のエートス…虚構と史実

〔平家物語：物語と文体〕(English)

マイケル・ワトソン(明治学院大学)

〔平家物語における「いくさ」がたり——特徴と主題〕(English)

デイビット・ピアロック(南カリフォルニア大学)

〔平家物語における父と子〕(en français)

ダニエル・ストリユーヴ(パリ・デイドロ大学)

昼休み

〔『平家物語』が描く戦場——いくさの表現史〕(日本語)

鈴木 彰(立教大学)

〔カテゴリー化の制約——中世初期の日本における戦と戦士〕(English) マイケル・アドルフソン(ケンブリッジ大学)

〔12世紀の戦場における馬上の射手の役割——『平家物語』の観点から〕(en français)

クリオ・シモネッタ(フランス国立高等研究院)

第二日 九時三十分～十七時(休憩を含む)

〔セッション2〕戦争の文学と戦士の栄光——比較的観点から

〔ローランの歌における栄光〕(en français)

ミシエル・ザンク(コレージュ・ド・フランス)

〔ホメロスの叙事詩におけるクレオス(栄光)〕(en français)

ドミニック・ジャヤール(ジュネーヴ大学)

〔軍記物語の中の物語〕(en français)

クレール・碧子・ブリッセ(パリ・デイドロ大学)

昼休み

〔セッション3〕平家物語：成立・伝播の諸問題

〔覚一本平家物語の成立を巡る文字テキストのポリテクス〕

(日本語)

兵藤裕巳(学習院大学)

「僧侶による説経の隆盛と平家物語の誕生」(日本語)

牧野淳司(明治大学)

「平家琵琶の伝承と大秘事」(English)

エリザベス・オイラー(ピッツバーグ大学)

主催者のねらいのひとつとして、ヨーロッパの叙事詩研究の伝統と、『平家物語』研究の現状とをひとつの場に持ち寄り、今後の展望を得ることがあったようだ。いわば、意識的に異なるものを同席させようとした挑戦的な企画だったわけで、必然的に、認識や方法、目的意識などについて、さまざまな「違い」が浮かび上がってきた。そのことは、フランス語・英語と日本語とでは、総合テーマとして掲げられているものの質に違いがあるところにも、あらかじめ暗示されていたと言えようか。

両日とも参加者は三十名ほどで、パリで日本文学・歴史・美術等を学ぶ研究者・院生・学生はもちろん、ドイツ・イギリス・イタリアからの一般参加もあった。

各報告は質疑応答の時間を含めて四十五分もしくは六十分に設定されており、フランス語でのやりとりには、日本語通訳がつく形で行われた。私は、いくさ・戦乱を扱う表現の歴史を幅広く見渡し、『平家物語』を特別視することなく、日本文学を構成してきた表現史のなかの一駒としてその位置を見定める必要があることを、見せる・見られる・見るという武士の感性、戦場における掠奪、戦争・戦場と食という三つの観点から論じた。

各報告をめぐってさまざまな質問・意見が飛び交った。中でも、仏教者の視点や唱導資料を扱った牧野氏の報告には多くの関心が

集まった。今後、こうした角度からの『平家物語』研究も浸透していくことで、より多角的な物語理解と、日仏・日欧それぞれの文化への柔軟な相互理解が育まれていくことを願いたい。

最後に、この国際シンポジウムにお招きくださったパリ・デイドロ大学の関係各位に心より御礼申し上げます。(文責・鈴木彰)